

十六

拓

六〇

別紙樺太廳整理委員長ヨリ提出
月及送付候也

明治四十五年七月八日

拓殖省總裁官房

主書課長中川健藏

臨時制度整理事務

御中

拓殖局

北 紙

臨時制度整理委員會

中川小十郎

事務官

明治四十五年五月三十日

臨時制度整理委員會
事務官中川小十郎

發官祿第一六號

明治四十五年五月三十日

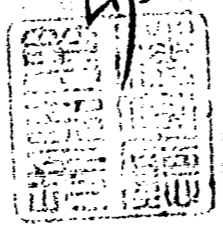
樺太廳整理委員長

樺太廳事務官中川小十郎

臨時制度整理局幹事

本廳整理委員會ニ於テ調査相濟ニ候事項別紙

一通リニ有之候此段及報告候也



送付之

統一ハ勿論實際執行ノ上ニモ此ノ支拮抵觸アルヲ容
レズ故ニ之ヲ一括シ加フルニ經理事務ヲ以テテ第二部
ト為ス

因ミニ拓殖ノ經營ハ國ノ施設ト民人ノ經營ト克ク合
體歸一スル至境ニ達スルヲ極致トス故ニ少シトモ國ノ
施設ハ一官府ヲ以テ總攬セシムルヲ要ス之ヲ其ノ官
府ト中央政府トノ關係ヨリ看テ別言スレハ一省專
屬ナルヘシテ各省分屬ナルヘカラサルナリ

次ニ各部ノ長ハ事務官ヲ以テ之ニ補スルコト勿論ナルカ
部中各課モ亦其ノ主要ナルモノハ事務官又ハ事務官
補ヲ以テ之ニ充ルシ要ス蓋シ技師ヲ以テ課長トシ
ルハ一見利便ナルカ如シテ實ハ技術官ノ本能ヲ殺キテ
技術的事務ヲ疎漫シシ一面課長トシテノ事務モ亦常

ニ不成績ニ終ルノ憾アレハナリ

二通譯官及通譯ヲ廢スルコト

特ニ專任者ヲ置クノ要ナキヲ以テナリ

三支廳ト出張所トノ二種ヲ一種トスルコト

現制ハ下級地方廳ニ支廳ト出張所ノ階級的ニ種
リ本廳ト併セ三階級トナリ却テ官民相互ノ煩ヲ増
スニ過キス而シテ事務ノ澁滯經費ノ冗漫之に伴フ
故ニ支廳出張所ノ中何レカ一種ト為シ總テ本廳
ニ直屬セシムルヲ要ス其ノ名稱ノ如キハ支廳又ハ出
張所ノ孰レニスルモ可ナリ其官衙ニ長タル者ハ通則
トシテ屬ヲ以テ之ニ補スレバ足ルモ一面昇進拔擢
ノ途アルヲ要スルヲ以テ奏任官ヲ以テ之ニ補スルコト
ヲ得ヘキ様センヲ要ス

右下級廳ノ設置箇所ハ支廳所在地ニ於ケル出張
 所ノ類ヲ減スル外ハ大體現在ノ支廳出張所數
 二依ル
 四税関及航路標識ノ事務ヲ樺太廳ニ於テ掌理スルコト
 前者ハ大藏省後者ハ逓信省ニ於テ之ヲ掌理スルモ
 右ハ樺太廳ニ移スヲ要ス其ノ次第ハ現ニ樺太廳
 二於テ交通行政(通信鉄道補)一切ヲ掌理スルコトノ
 拓殖經營上當然ニ必要至適ナルニ徴シテ明白ナリ
 トス

發第 四三號

大正元年十月十四日

農商務次官押川則吉

田岡兼記官長南 弘啟

田岡官長ヨリ林區爲度止ニ向テ所轄縣等ノ意見
 参考トシ及ビ此後行ハ直ニ樺太支廳當局ニ於テ
 記理由ヨリ林區爲度止ノ意見ニ全意致意スル
 事ト爲ス及ビ通函スル也

四十七

農 務